

2025年1月5日（日）第二礼拝 「主との出会い」創世記12章1～4節

神様と出会うなら、その人の人生に変革が起こり、神様に祝福されます。主と出会ったアブラハムの人生には、大きな変革が起こりました。そして、彼は祝福の基となりました。

第一番目、アブラハムは主と出会い、人生の計画が変わりました。アブラハムは七十五歳まで父親と仏壇を作り、販売していましたが、神様から「…あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。…わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し…あなたの名は祝福となる。」と語られます（創世記12：1～2）。それまでは、自分が良いと思う道を歩んでいたアブラハムですが、神様に語られてから、神様の計画された道へと人生の進路を変えました。その結果、アブラハムは神様から祝福の基となる約束を与えられました。「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」（創世記12：3）

そのアブラハムの子孫としてイエス様は来られました。イエス様は、アブラハムが召された所であるエルサレムで、私たちの罪のために十字架につけられ、死んで葬られました。また、そこはイエス様の再臨の場所でもあります。アブラハムの祝福とは、罪の赦しと聖霊充滿と永遠のいのちであり、私たちはそのアブラハムの祝福を受け継ぐ者なのです。

第二番目、アブラハムの従順の人生です。「アブラムは主がお告げになったとおりに出かけた。」（創世記12：4）信仰は従順です。主の告げられたとおりにアブラハムが従順する時は成功し、不従順な時は失敗しました。神様が示されたエルサレムには当時、酷い飢きんがあり、アブラハムはエジプトに下りました。そこで、自分の妻を妹と言ったため、パロは彼女を召し入れようとします。その件で彼は失敗しました。その後、親類ロトとの間で紛争が起こり、別れて歩みます。アブラハムが八十五歳の時、まだ子どもがいなかったため、エリエゼルを跡取りにしようと考えていましたが、「あなたから生まれるものが跡取りになる」と神様に告げられます。彼はそれを信じ、神様はそれを彼の義と認めました。その後、奴隷ハガルがアブラハムにイシュマエルを産みますが、後に、その子孫との間で中東問題が起こることになります。彼が百歳の時、主のことばどおり、約束の子イサクが生まれます。神様はその子をモリヤの山でいけにえとして捧げるように言われましたが、それにも従順するアブラハムの姿を見て、神様はイサクの代わりに羊を用意してくださいました。このように、アブラハムはその人生で様々なことを経験しながら、神様への従順を学んでいったのです。

第三番目、主との出会いは人格的なものです。イエス様を信じることで、聖霊が私たちのうちに来られました。聖霊によって、私たちのうちに志が立てられ、神様のビジョンを抱くようになり、また、御言葉を読む時や、夢や幻でも、悟りが与えられます。アブラハムのように主と出会い、主が与えてくださるビジョンに沿って生きる時、私たちもまた、祝福の基となることができるのです。私たちの思い(自我)はキリストとともに死に、キリストが私たちのうちに生きる人生となるのです。アーメン！